



株式会社不動テトラ

2022年3月期決算説明会

2022年5月31日

イベント概要

[企業名]	株式会社不動テトラ		
[企業 ID]	1813		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2022 年 3 月期決算説明会		
[決算期]	2021 年度 通期		
[日程]	2022 年 5 月 31 日		
[ページ数]	39		
[時間]	11:00 – 11:55 (合計：55 分、登壇：41 分、質疑応答：14 分)		
[開催場所]	103-0026 東京都中央区日本橋兜町 3-3 兜町平和ビル 3 階 第 3 セミナールーム (日本証券アナリスト協会主催)		
[会場面積]	145 m ²		
[出席人数]	17 名		
[登壇者]	2 名		
	代表取締役社長	奥田 眞也	(以下、奥田)
	取締役常務執行役員管理本部長	北川 昌一	(以下、北川)

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



登壇

司会：お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただ今から株式会社不動テトラ様の決算説明会を開催いたします。

最初に会社からお迎えしている、お二人の方をご紹介申し上げます。まず代表取締役社長の奥田眞也様です。

奥田：奥田でございます。よろしくお願いいたします。

司会：よろしくお願いいたします。次に取締役常務執行役員管理本部長の、北川昌一様です。

北川：北川でございます。よろしくお願いいたします。

司会：よろしくお願いいたします。本日は奥田社長様からお話を承ることとなっておりますが、お話が終わりましたら質疑応答の時間をもうけていただいております。

それでは早速でございますが、奥田社長様、よろしくお願いいたします。

奥田：奥田でございます。アクリル板がございますので、私だけマスクを取らせていただきます。よろしくお願いいたします。

本日はお忙しい中、また新型コロナがなかなか収束しない中、足元もあいにく悪い中、弊社の決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

また日頃から皆様には弊社の社業、ならびに IR 活動にご理解とご協力をいただいております。この場を借りて重ねて御礼申し上げます。

それでは決算説明会に入ります前に、お手元にお配りしております資料のご確認をお願いいたします。本日使います説明会の資料、ならびに決算短信、そして決算補足説明資料。もう 1 点、CSR レポートをお手元にご配布させていただいております。

それではお時間もございませんので、説明のほうに入らせていただきます。

目次の流れでお話をさせていただきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



◆ 中期経営計画（2021～2023年度）の概要

○基本方針

- ① 持続的な成長に向けた戦略的投資及び事業領域拡大を促進する
- ② 経営理念を基盤としたESG（環境・社会・ガバナンス）経営の実践により社会に貢献する企業グループを目指す
- ③ 資本コストを意識した経営を実践する

○数値目標（連結ベース）

	中期経営計画 (2021～2023年度)	2021年度の目標	2021年度の成果
業績目標	3か年での営業利益 120億円以上	営業利益 38億円	営業利益 33億円
資本効率目標	自己資本当期純利益率 (ROE) 8.0%以上	自己資本当期純利益率 (ROE) 8.0%以上	自己資本当期純利益率 (ROE) 7.0%
株主還元目標	配当性向 40%程度	配当性向 40.0%程度	配当性向 44.4%予定

2

まず弊社は 2021 年度、この 22 年 3 月期をスタートとする新中計の 1 年目でありました。今回の中計は前中計が 10 年先の当社の未来を予想した、基盤整備の中計 3 カ年として中計を終えました。比較的順調な基盤整備 3 カ年の中計を終えて、2021 年度、成長拡大と位置づけをした中計 3 カ年の 1 年目でありました。

中計の基本方針としては三つを掲げて、数値的な目標としましては 3 カ年で 120 億円、ROE8%以上、配当性向 40%程度という数値目標の中で、21 年度、営業利益 38 億円、ROE8%以上、配当性向 40%程度という目標を掲げて、1 年目をスタートしました。

結果的には後で詳しくご説明差し上げますが、少し残念な結果となっております。営業利益が 33 億円、ROE は 7%。配当性向につきましては 6 月の株主総会での議決案件で、今回予定ということで 44%程度を現在考えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

全社業績（連結）

当社グループの業績につきましては、期首手持ち受注高は700億27百万円（前期比8.8%減）と高水準な状況が続いたものの、受注高が639億円（前期比2.5%減）と減少したことに加えて、工事の着工遅れ・中断等があり売上高は668億円（前期比7.6%減）と減収となりました。これにより営業利益は32億97百万円（前期比27.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は20億63百万円（前期比31.0%減）それぞれ減益となりました。

(単位：億円)

指標	中期経営計画			実績	計画
	2021年度	2022年度	2023年度		
期首手持ち受注高	700	640	587	700	671
受注高	690	724	776	639	760
売上高	750	777	809	668	790
営業利益	38	39	43	33.0	39.4
(率)	5.1%	5.1%	5.3%	4.9%	5.0%
当期純利益	24	26	28	20.6	25.6
ROE	8.0%以上			7.0%	8.3%

3

業績の先ほどお話ししました、少し詳しい内容になります。

中計3カ年の計画に対し、初年度、期初の手持ちとしましてはここ数年、豊富な手持ちを持ちながらのスタートをいたしました。結果的に受注が少し目標よりも少なく、その影響を受けて売上がなかなか伸びなかった影響で、営業利益、純利益ともに目標未達となりました。

特に受注面においては新型コロナの若干の影響で、民間の事業が少し出遅れてきていたと。その影響で官庁工事、公共事業については比較的安定した出件、あるいは発注がされてきたのですが、思ったよりも競争がかなり激しくなっている影響を受けております。

売上につきましては、手持ち工事の中の大型工事が想定外の工事中断が何件か発生したのが、売上の少し減少に影響が出ております。それと期内受注の大型工事の受注時期が、少し後ろにずれたことも少し売上には影響があったという気がしております。

この数字、結果的にこういうかたちで終わりましたが、実は第2四半期が終わって第3四半期が進んでいく中で、私どもとしてはかなり計画に対して厳しい状況だということで、いろんな精査もしまして。1月の時点で下方修正というかたちで、見通しを発表させていただきました。

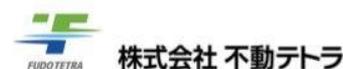
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



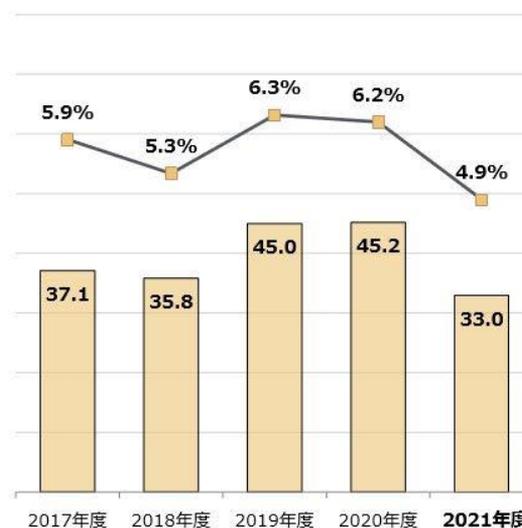
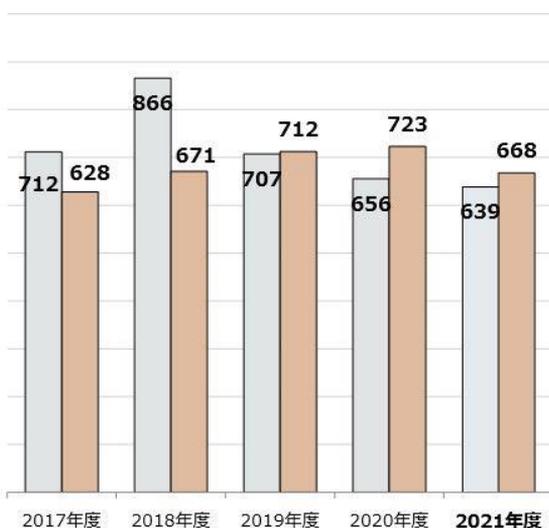
株主の皆様の実情というかたちで、私どもとして見通した中で下方修正をとらせていただきました。ただ、結果的には第4四半期に工事内容の改善、あるいは新しい工事の受注等により、かなりの挽回をして、なんとかこの決算数字にたどり着いたのが実情でございます。

全社業績（連結）



□ 受注高（億円） □ 売上高（億円）

■ 営業利益（億円） ■ 営業利益率（%）



4

過去5年を並べております。やはり先ほどご説明しましたように少し受注面で苦戦して、約640億の受注。影響を受けまして売上も668億円ということで、過去5年を比べると平均より若干下回った数字です。

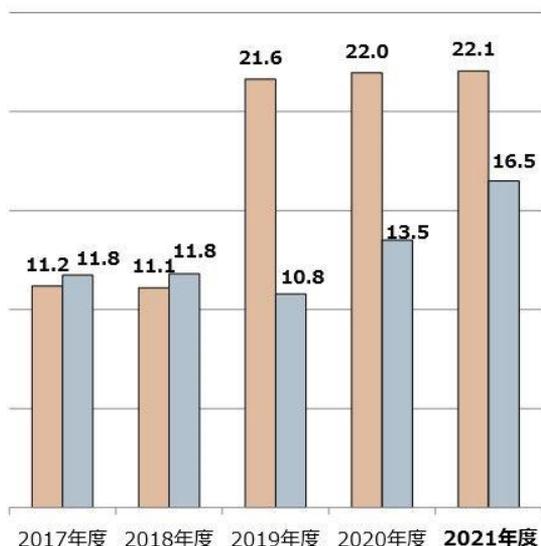
営業利益につきましては、工事利益そのものはそんなに下がったとは思っておりません。内容的には売上高が少し減った分によって、間接経費あるいは一般経費の割合が高くなりますので、その分、営業利益率が少し下がったと見ております。

サポート

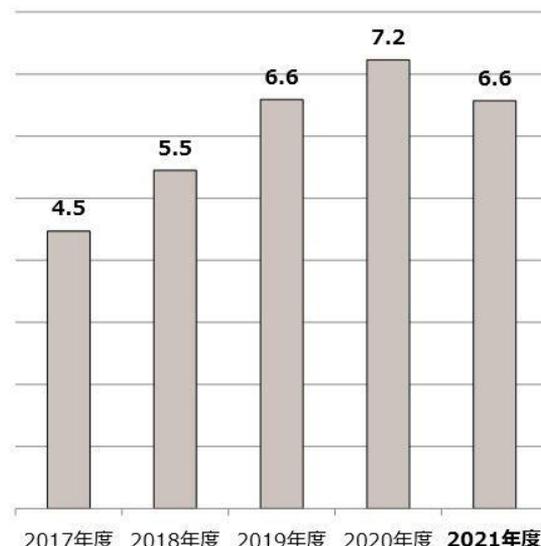
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



■ 設備投資（億円） ■ 減価償却費（億円）



■ 研究開発（億円）



また本中計でも前中計でも、積極的にいろいろな意味での投資もしてきておりますので、そういったものの負担が少しずつ増えております。それを売上高が計画どおりにしっかりあればカバーしながら5%以上の営業利益率は達成できたと思うのですが、少し売上高が減少したために5%を若干切る営業利益率になったかと考えています。

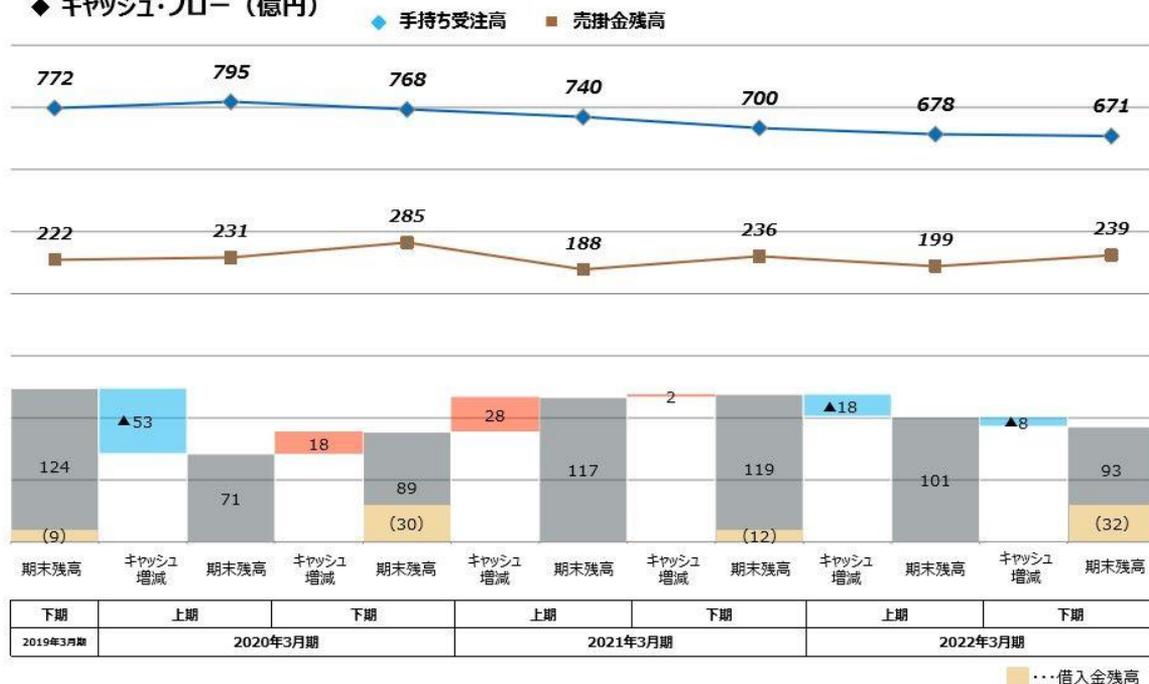
これが投資の中でも一番大きな割合を占めています、設備投資の5年の移り変わりです。ここ3年、20億を超える設備投資を続けております。内容につきましては、後で詳しくお話をしたいと思います。

研究開発費につきましても売上高の1%を超えるということで、研究開発のスピードも落とさずに事業を進めているのが現状でございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

◆ キャッシュ・フロー（億円）



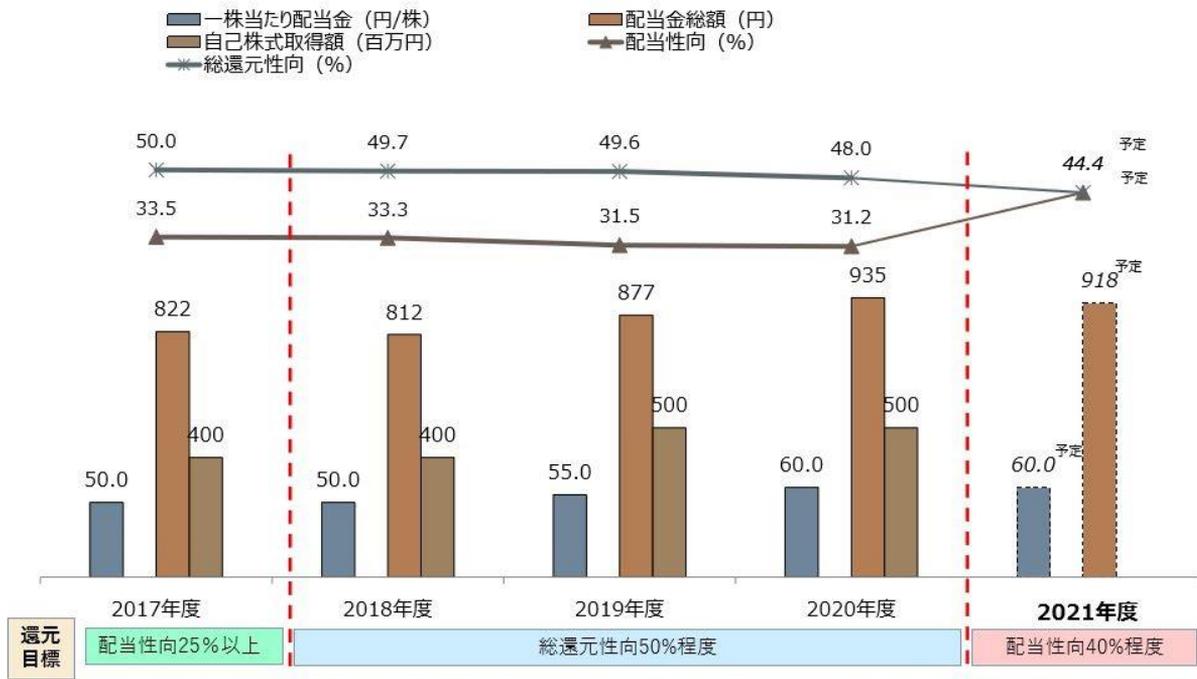
キャッシュ・フローにつきましてもここ数年、ほぼ変わらないような内容で推移してきました。ただ22年度につきましては戦略的な投資も行ったたりしておりますので、少し借入金を増やしながらか投資活動もしてきているのが現状です。

ただ、現金等につきましてはある程度リスク等を考えまして、少し手元に置きながら、通常ของบริษัท運営ができるものは残しているのが現状です。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

◆ 株主還元状況



7

株主様への還元の移り変わりです。

前中計は基本方針で、株主様への総還元性向 50%程度と目標にして3カ年を終えました。ですので配当としては30%強、残りは自社株買いというカタチで、ほぼ50%の総還元性向を3カ年行いました。

本中計におきましては、株主様への配当性向を40%程度とさせていただきました。当然ここ数年、積極的にいろんな方面に投資しておりますので、そういった活動に資金を使いながら、資金に利益的に余剰金が発生すれば、またそこはタイミングで自社株買いを考えていきたいということで、株主様への配当性向40%程度を目標としてスタートさせていただいております。

この件につきましては株主総会で議決ということで、現状は1株当たり60円を想定しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

セグメント別業績



(単位：億円)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
100	通期実績	通期実績	通期実績	通期実績	通期実績
期首手持ち受注高	494	578	772	768	700
土木事業	308	413	600	625	573
地盤改良事業	181	163	170	143	130
ブロック事業	5.7	2.2	4.6	4.0	4.0
受注高	712	866	707	656	639
土木事業	376	511	367	305	279
地盤改良事業	308	321	305	314	325
ブロック事業	28	35	36	44	35
売上高	628	671	712	723	668
土木事業	271	324	342	356	321
地盤改良事業	326	314	332	328	316
ブロック事業	31	32	37	44	37
売上総利益	111	108	120	125	110
(率)	(17.7%)	(16.1%)	(16.8%)	(17.3%)	(16.4%)
土木事業	35	32	34	43	32
(率)	(12.9%)	(9.9%)	(9.8%)	(12.1%)	(10.1%)
地盤改良事業	65	62	68	62	58
(率)	(19.9%)	(19.8%)	(20.4%)	(19.0%)	(18.2%)
ブロック事業	13	13	17	22	18
(率)	(41.3%)	(39.5%)	(45.0%)	(50.4%)	(49.8%)
販売費および一般管理費	74	72	75	80	77
営業利益	37	36	45	45	33
土木事業	15	11	13	22	10
地盤改良事業	32	27	32	23	19
ブロック事業	▲ 1.7	1.2	4.9	9.9	5.3

※全社計には3セグメント以外の数値及び連結調整額が含まれるため、3セグメントの合算値と全社計は一致していません。

(土木事業)
受注高は、国内での競争激化もあり279億円（前期比8.6%減）と減少し、売上高は、受注の減少に加え工事の進捗遅れにより、321億円（前期比9.9%減）と減収となりました。営業利益は、減収や工事の利益率低下により、10億円（前期比55.8%減）と減益となりました。

(地盤改良事業)
受注高は、325億円（前期比3.3%増）と増加したものの、売上高は、工事の着工遅れ等により、316億円（前期比3.6%減）と減収となりました。営業利益は、減収に加え、個別工事の利益率は変わらぬものの、保有の船舶・機械の減価償却費の増加等もあり、19億円（前期比19.5%減）と減益となりました。

(ブロック事業)
受注高は、主力の型枠賃貸が災害復旧需要の一巡により、35億円（前期比20.4%減）となり、売上高は、37億円（前期比15.2%減）と減収となりました。営業利益は、減収や固定費の増加により、5億300万円（前期比46.4%減）と減益となりました。

次に少し詳しく、セグメント別にお話をさせていただきます。

まず土木事業ですが、一番やはり受注に苦戦しましたのは土木事業になります。かなり競争が激化してきています。特に大型工事から中型工事、中型工事から小規模工事へとランク的に大きな会社さんが少しずつ、下に仕事を求めて下りてくる現象が起きてきていますので、そういった意味で私どもの規模のクラスでの受注を目指している案件に対して、かなり競争が激化してきているのが現状です。

売上面で下がっていますのも手持ちがかなり豊富ですので、この下がった原因は大きなシールド工事が2件、予想しなかった中断になっております。これは事前の調査等で全く分からないものに地中でぶつかったということで、現在そういったものをどう除去するかで調査、設計等に入っております。

このような2件の工事が影響しまして売上が少し下がったことで、利益面でも営業利益が10億ちょっとと、少し低い数字になっています。

ただ土木事業、昨年度22億という営業利益を出しましたが、これは昨年の決算説明会でもお話ししました。昨年度はかなり大型工事が竣工を土木が迎えて、そこの設計変更等がかなり獲得で

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



きたことで、例年に比べると2倍近い営業利益を昨年度は出しております。ですので、それを少し外しますと、外す必要は本当はないのですけれども、除きますと平均より若干下ということで、予想だにできなかった工事中断がなければ、そこそこの利益が出せたのではないかと考えています。

地盤改良事業ですが、受注面では例年とそう大きく変わらないかたちでの受注の結果を上げています。ただ後ほど説明しますが、もう少し大きく期待していたのは事実です。それに比べますと少し受注予定工事が時期ずれを起こしていたのも、影響が出たと思います。

売上高はこういった受注がもう少し上がるだろうと想定しておりましたので、少し計画よりも足りない状況でした。工事の個別の利益率は決して下がっていないと見ています。ただ、間接工事費、船舶とかあるいは機械センターにかなり投資してきていますので、そういったものの償却費。

それと新しい研究開発等に費用をかけてきていますので、そういった間接経費が少し膨らんできており、その分を売上高が減少したことによってカバーができなかったということで、19億という営業利益で結果的には少し目標に足りない数字になったと思っております。ただ、個別のそれぞれの工事の利益率は決して下がっていないと考えています。

ブロック事業ですが、ブロック事業も昨年度災害復旧、緊急の工事がかなりありましたので、売上、利益とも好結果を昨年度出しています。それに比べますと少し見劣りした数字になりますが、数年前まで赤字だった部署がある程度安定して、利益が出せるかたちで、悪くてもそういうかたちがとれる事業として再生ができたというのが、2021年度の結果と評価できると思っております。

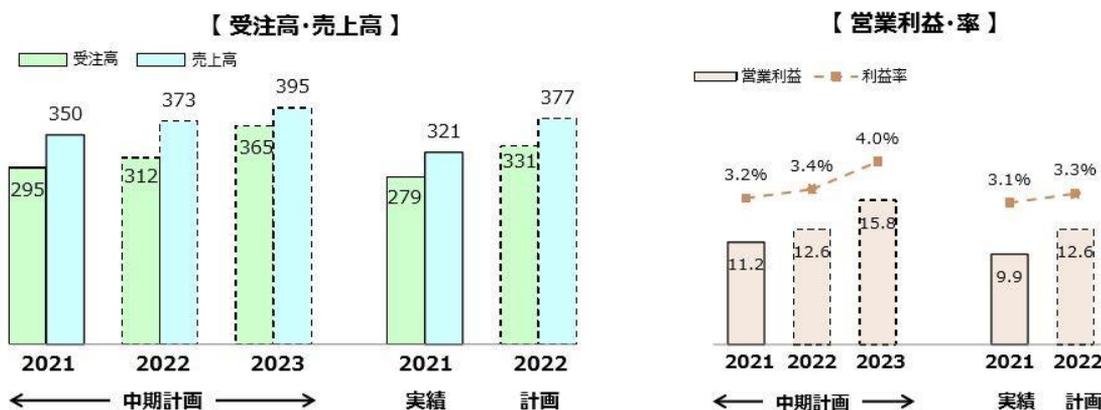
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



事業方針	長期安定性の確保（受注、利益、人員）～「守り」から「攻め」へ～
主な事業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 事業規模の拡大 ▶ 戦略的パートナーシップの構築 ▶ 採用（人的投資） ▶ 働き方改革 ▶ 採算性の向上 ▶ 研究開発/設備投資 ▶ 教育

◆ 年度別数値目標（単位：億円）



9

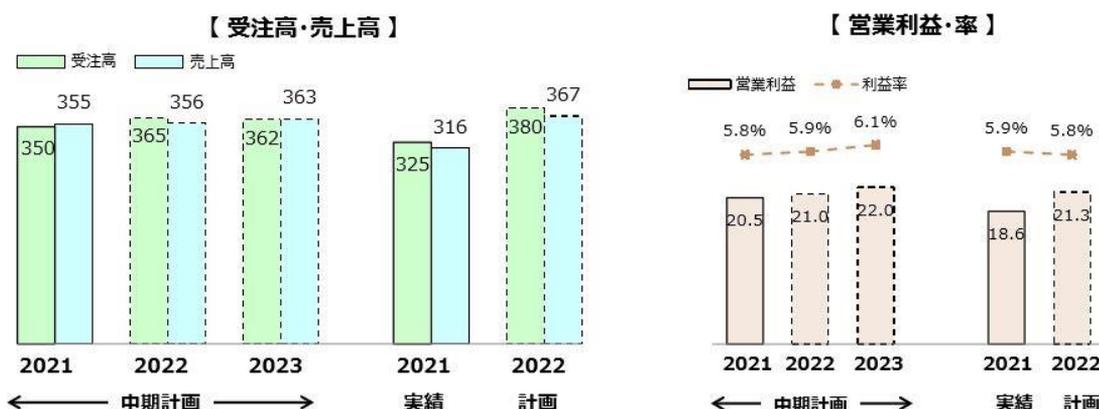
土木事業の中計の計画に対しての2021年度の実績です。見ていただきますと、受注がやはり少し思ったほどいかなかったのと、売上もそれと中断の影響を受けたのと。営業利益率的にはそう変わらないのですが、やはり売上高が減りましたので、その分どうしても額的には厳しい結果になったと思います。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

事業方針	多様化する社会的要求への対応に向け、新技術の開発・導入を軸とした持続的な事業の発展と周辺事業領域の更なる拡大
主な事業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 主力工法の改善改良による競争力アップと事業量の確保 ▶ 海外事業の安定化 ▶ 新技術・新工法の開発・導入による周辺事業領域の拡大 ▶ 利益体質の更なる向上 ▶ 人材の確保・育成と働き方改革への対応

◆ 年度別数値目標 (単位：億円)



地盤事業です。先ほどご説明いたしましたように、325億という受注は過去と比べるとそんなに低い数字ではないのですが、計画スタート時点で350億という受注の計画でスタートしています。これは当然、海外への投資とか、一昨年愛知ベース工業を子会社化したことを踏まえて、受注高、売上高も伸びる期待と想定でスタートしておりました。それを考えますと325億という受注は、少し物足りないと私自身も考えております。

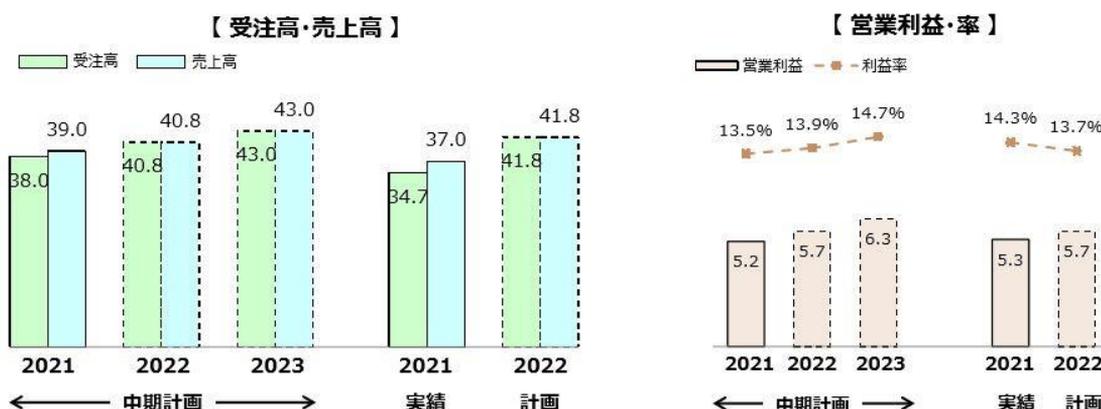
2022年、今年度がスタートしておりますけれども、この計画は地盤事業としては過去にない高い計画値になっております。受注380億、売上367億で、前年度遅れてきた工事、それと子会社化した愛知ベース工業、それとアメリカでの投資の効果が出てくる想定を目標に入れております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

事業方針	技術に裏付けされた製品により安定した収益を図り、ブロック事業のリーディングカンパニーを堅持する。事業フィールド：「防災・減災」「環境」「海外」
主な事業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 分野別シェアの維持・拡大を図るとともに新市場へ参入し、トップシェアを堅持する ▶ 収益力の向上 ▶ 商品販売事業での長期的収益確保 ▶ 海外展開 <ul style="list-style-type: none"> ▶ ESG経営を意識した企業価値向上への寄与

◆ 年度別数値目標 (単位：億円)



ブロック事業。安定して5億強の営業利益、最終的にはもう少し上を目指せる受注と売上が見通せるような状況に変わってきているということで、いろんな施策をやってきている効果が徐々に出てきているのかと。ただ、大きな国家的なプロジェクトがあればもう少し伸びたりするのですが、今のところそういうものを見通さない中で安定した市場の中での受注と売上、利益を計画として見えています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

◆基本方針

基本方針 1	持続的な成長に向けた戦略的投資及び事業領域拡大を促進する
基本方針 2	経営理念を基盤としたESG（環境・社会・ガバナンス）経営の実践により社会に貢献する企業グループを目指す
基本方針 3	資本コストを意識した経営を実践する

◆76期の結果

項目		目標	76期目標	76期結果
業績目標	3か年での営業利益	120億円以上	38億円	33億円
資本効率目標	自己資本当期純利益率（ROE）	8%以上	8%以上	7.0%
株主還元目標	配当性向	40%程度	40%程度	44%

76期目標に対しては未達ですが、残り2ヵ年で中計3か年の目標達成を目指します

12

中計1年目振り返りますと、基本方針三つについては会社全体、各事業、それぞれしっかり取り組みを行っています。その結果、先ほどご説明しましたように、少し残念ですが目標達成はできないと。営業利益、ROEということになりました。

ただ下方修正した時期に比べるとかなり挽回もできましたので、残り2ヵ年で中計3ヵ年のトータルの目標については達成を目指して頑張っていくということで、役員、社員一同この方針には変わりはないとお話をさせていただきます。

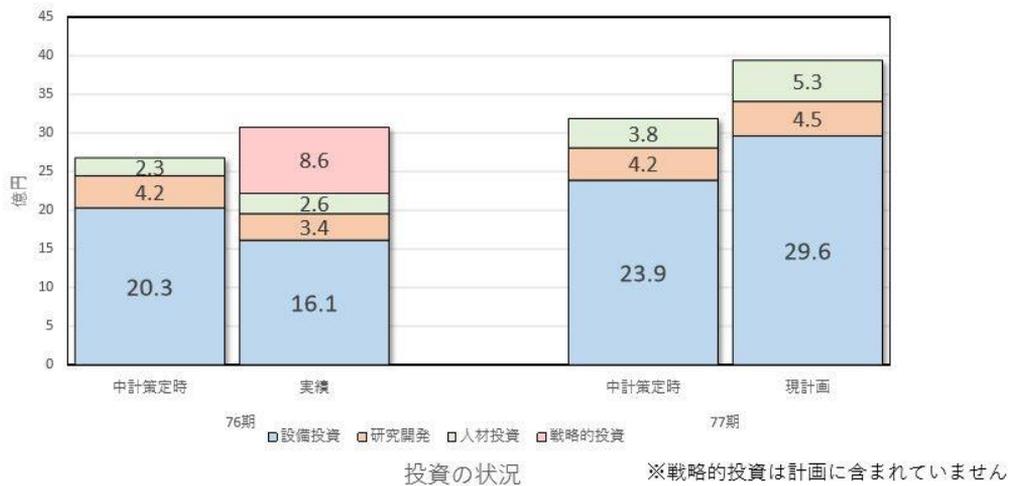
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

◆投資方針

『成長投資と株主還元を両立』

- 成長投資に必要な資金は臨機応変に財務レバレッジを活用
- 余剰資金が発生した場合には、自社株買いなどにより機動的な還元を実施
- 緊急事態に備え適正な流動性の範囲でオンバランスの現預金等を確保



13

1年目、それぞれどのように進捗したか少しご説明をさせていただきます。

投資の方針として、成長投資と株主還元を両立させていくことをお約束しながら、投資活動も進めてきております。

今回も一部借入をしながら投資に回すかたちで、資金を運用したりもし始めております。ただし緊急事態に備えた現預金についてはしっかり確保しながら、資金の計画も進めております。

その中で76期、前期の実績としましては30億強の投資の資金を運用いたしました。一番大きいのは16億という設備投資ですが、あとは人材、開発、そのほかに8.6億。これが戦略的投資で、米国のAGIの資本参加を進める。こういったところに戦略的な投資というかたちで、資金を流入いたしました。

今期77期ですが、前期よりも大きな投資を考えております。計画しております。これは前期少し設備投資が遅れた分、77期に回ってくる分も足しまして、大きな投資。まだこの戦略的投資については結果的なことですので、ここでは計画的には入れてはおりません。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

この中で先般も、後でご説明しますが、新聞にも発表させていただきました。地盤事業の機械の整備、運用、あるいは保管。開発を進めます東京機械センターを新しく新築させ、落成式を無事に終えております。

投資・資本政策



株式会社 不動テトラ

◆主な投資

項目	主な投資	内容	金額 (億円)
設備投資	地盤改良施工機	施工機の更新投資ほか	16.1
	東京機械センター	建替え、BCP対応	
	型枠賃貸	能力増強、更新投資	
	総合技術研究所	平面水槽	
	その他		
人材投資	中途採用	13名の採用	2.6
	人材育成	キャリアアップ研修の充実	
	その他	健康経営宣言	
研究開発	AI、ICT関連	ICT施工への対応	3.4
	ESG関連技術の開発	カーボンニュートラルへの対応	
	その他		
戦略的投資	米国関連	AGI社との資本業務提携ほか	8.6
合計			30.8

14

これが前期の投資の内訳になります。

設備投資 16 億、人材投資 2.6 億、研究開発 3.4、戦略投資 8.6 で、約 31 億の投資活動を行いました。

サポート

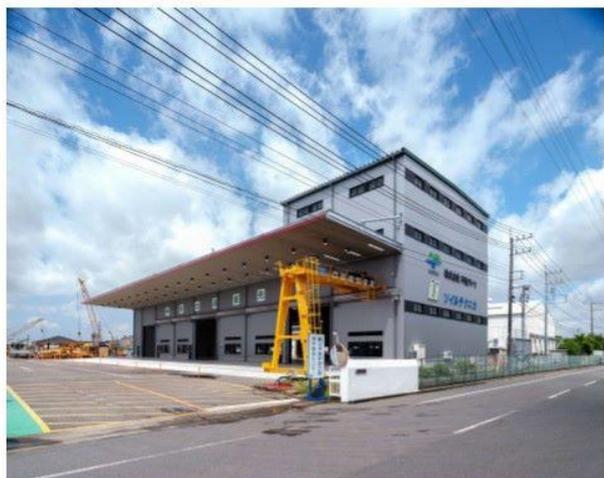
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



◆東京機械センターの建替え、耐震化

東京機械センターの第1工場の建替え、事務所棟・第2及び第3工場の耐震化工事が完了しました。第1工場建替えの主な目的と期待する効果は以下の通りです。

- (1) 耐震化実施による社員の安全確保、巨大地震発生時の事業継続性の確保
- (2) 水害対策実施による社員の安全確保、水害発生時の事業継続性の確保
- (3) 作業効率改善



第1工場全景



第1工場正面



第1工場
(太陽光パネル等)



第1工場内部

設備投資の主なものです。ご説明しました、地盤改良を支える、特に東地区の拠点となります東京機械センター。古くなっていたのがありますけれども、地震あるいは水害に耐えられる施設ということで、水害が起こった場合も、想定される水害よりも高いところに重要な機能を移しております。

また工場内には大型のクレーン4台を設置することによって、同時に4台の機械の整備が可能ということで、今までよりも倍の整備能力を有するかたちです。なおかつひさしを付けたことによって、ここにも大型のクレーンを装着しています。こういった意味で、かなり幅広くいろんなことができる工場になりました。

なおかつソーラーシステムも投入しておりますので、万が一のときにも電力が確保できるかたちで、BCP対応の一環としてもこのセンターが機能できるものに改良いたしております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

◆総合技術研究所：平面水槽

プール状の造波水槽である平面水槽を第2実験棟内に新設しました。
 平面水槽には不規則波造波機が取付けられており、現地の波浪状況を広域にわたり再現することができます。また、デンマークのオールボー大学で開発された最新鋭の反射波吸収式造波システムを導入し、高精度な造波が可能です。



水槽諸元	平面水槽
長さ×幅×高さ	25m×10m×1.0m
最大発生波	H=30cm, H _{1/3} =15cm

また総合技術研究所、ずっと3年かけて整備してきました。最後の一つとしまして平面水槽を構築いたしました。

これも日本では最先端になります。デンマークで開発された最新鋭の反射波吸収システム、造波システムを持った波を送ることができます。ですので、こういった壁で反射した波が影響して、しっかりした実験ができないことがない施設を構築いたしました。

当社にとりましては、こういった3次元で模型実験ができることは、営業実験もそうですし、新しいブロックの開発、港湾技術の開発にも大きく役立つだろうということで、今期から稼働いたします。

これで研究所の大きな設備の更新投資は、ほぼ一段落というかたちで完成を迎えます。ご興味のある方は、ぜひご案内もさせていただきますので、一度見ていただければと考えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

【人材投資】



株式会社 不動テトラ

◆従業員数の推移

働き方改革の推進と業容の拡大・安定を目指して、採用を促進し、従業員を増やしています。

	2017	2018	2019	2020	2021
従業員数(連結)(人)	851	864	873	951	965
新卒採用(連結)(人)	23	39	38	38	41

◆「健康経営優良法人2022」認定

社員の健康は企業経営における最優先事項の一つであり、社長をトップの健康経営推進責任者として、健康保険組合や産業医・看護師、労働組合等と連携した健康経営企業内推進体制を整え、健康経営を実践していく健康経営宣言のもと、日本健康会議より「健康経営優良法人2022」の認定を受けました。

- 定期健康診断の受診率100%
- 二次検査受診率80%
- 生活習慣病などの疾病予防のための運動指導・栄養指導
- 職場における健康増進活動 等



◆「えるぼし」認定

「えるぼし」は、「女性活躍推進法」に基づき、行動計画の策定・届出を行った企業のうち、一定の基準を満たし、女性の活躍推進に関する取り組みの状況が優良な企業に対して、厚生労働大臣が認定するものです。当社は5項目すべての基準を満たしたことで、「認定段階3（3つ星）」の認定を受けました。



◆シニア層の活躍推進(社員の定年延長)

- ・社員の定年を60歳から65歳に引き上げ(60歳定年を選択できる選択定年制)
- ・66歳~70歳の間はシニア社員として再雇用制度を導入フルタイム以外の働き方(短時間、短日勤務)を選択可能

17

そして人材への投資。従業員、積極的に40名前後の採用も続けておりますし、中途採用の方も採用しております。当然、自然に辞めていかれる方、あるいは定年を迎えられる方もありますので一気に増えませんが、ここ5年で100名以上の従業員を増やしてきております。

また健康経営優良法人2022にも認められて、認定していただきました。これは健康診断とかいろいろなおことでもありますけれども、働く職場環境が健康増進に適している判断もいただいております。私としても健康経営推進責任者として、健康経営宣言も昨年度いたしております。

また女性活躍という意味では、えるぼしの認定も厚生労働大臣から昨年度受けております。女性の社外取締役もおられます。また女性のプロパー出身の執行役員もおります。女性の部長も数名、女性活躍としては建設会社としてはしっかり男性、女性関係なく能力のある方はそれなりの立場に就かれ、活躍をしていただいていると自負しております。

また昨年度、人事制度を大きく改定しております。一つの柱は定年を60歳から65歳に、昨年4月1日に引き上げました。当然、選択制です。60歳で辞められる方もおられますし、しっかり65歳まで働いていただいて、その後についてもいろいろなかたちでの当社への就労という意味で、シニア社員として働いていただける機会も設定いたしております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



◆研究開発と知的財産について

部門	主な研究テーマ	76期特許 新規出願件数	76期特許 新規登録件数	累計特許 保有件数
総合技術研究所	■ 海底鉱物資源の揚鉱技術の研究	5	2	4
	■ グリーンインフラを用いた海岸保全技術の研究			
	■ CO2による土壌の改良に関する研究			
土木	■ 除染土壌の減容化処理技術の開発	2	3	49
	■ ICT施工（海洋）に関する管理システムの開発			
地盤	■ 地盤改良のICT生産性向上に関する技術の開発	10	21	189
	■ 環境負荷を低減した地盤改良技術の開発			
ブロック	■ 数値解析に基づく波浪と構造物の相互作用の研究	3	3	20
	■ ICTを活用した生コンクリート打設機の開発			
	■ 消波・根固ブロックによるブルーカーボンに関する研究			
全社累計		20	29	262

※総合技術研究所単独の集計は2020年度より開始

18

研究開発。知的財産として現在保有しております特許は 262 件。土木としての特許はなかなか幅広く、いろいろな会社さんもおられますので難しいところもありますが、地盤としては約 190 件、ブロックとしても 20 件保有しながら、先期も新規登録が約 30 件、出願が 20 件ということで、研究開発にもしっかり取り組んできております。

話題としては少しずつ変わってきています。CO2 をいかにわれわれとして排出しない、排出したものを処理できるかという研究。あるいはグリーンインフラで海岸保全ができないかとか、あと ICT を生産、施工上にどう生かすかといったかたちで、少しずつ求められる方向性が変わってきた中で、分野が変わりながらも技術開発を進めているということです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

◆カーボンニュートラルへの取組み（ネガティブエミッション技術）

砂地盤の液状化対策を応用した炭素貯留技術の開発に着手しました。バイオマス混合材料をサンドコンパクションパイル（SCP）工法の中詰め材として地盤中に打ち込み、液状化対策を行うと同時に炭素を地盤中に貯留することが可能になります。



バイオマス材料（竹チップ）



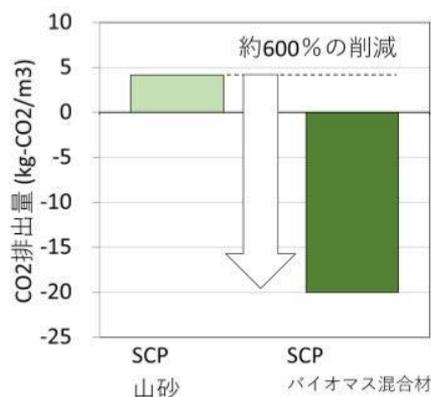
バイオマス混合材料製造状況



SAVEコンポーザー施工状況



掘削して確認した出来形



その研究開発の一環として発表しましたのが、カーボンニュートラルへの取組みということで、サンドコンパクション、当社の得意な工法にバイオマス混合材料を使うことで、竹チップ。日本は実は竹が日本全土たくさんありまして、これは実は意外に処理に困られていることもあります。この竹チップを使って、通常のサンドコンパクションパイルを通常の砂、あるいは砕石と混ぜて使うことにより、トータル的なCO2の排出量をかなり削減できることで、実用化に向けて研究開発を進めてきました。

実験工事も既に行いまして、特許の取得も終わっております。今後どのように営業展開をしていくかも、課題になっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

◆米国AGI社への出資

米国で事業展開する当社の100%出資子会社であるFudo Construction Inc.（以下「FCI」）は、米国カリフォルニア州の地盤改良会社である Advanced Geosolutions Inc.（以下「AGI」）の保有株式の49%を取得し、資本業務提携契約を締結しました。



AGI社年次総会での当社プレゼンの実施状況



新設されたFCI、AGI両社共有の機材センター

20

それと戦略的投資として、米国のAGI社への出資を行いました。保有しておりますAGIの株の49%を取得しております。当社の100%子会社でありますFudo Construction Inc.とAGI、2社が西海岸で連動することで、お互いの相乗効果での受注、あるいは施工、利益率の向上といった意味で、2社に資本を投入することによって、市場、あるいは受注拡大につながると考えています。

一緒に営業活動、あるいは機材センターは両方が共有するようなかたちで運営を既に始めました。昨年度はAmazonの大型工事をAGIとFudo Construction Inc.のJVで受注いたしまして、大きな利益を上げることもできております。今年度も期待している子会社の2社になります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

【カーボンニュートラルへの取組み】

◆総合技術研究所で再生可能エネルギー由来の電力を使用

総合技術研究所においては、使用する電力の全てを再生可能エネルギー由来の電力としています。

また、現在施工中の自家消費型太陽光発電設備が完成した際には、総合技術研究所内で使用する電力の40%程度を自社設備で賄うことができます。



太陽光発電計測表示システム
(発電量、蓄電量などを研究棟受付前に表示)

21

そしてカーボンニュートラルへの取組みでは、以前もご説明しました総合技術研究所。ソーラーシステム、ほぼ完成いたしました。研究開発に使用するエネルギーは全て自然エネルギーでの対応ということで、そのうちの約40%程度を自社のソーラーでまかなうことで、今期からスタートいたします。

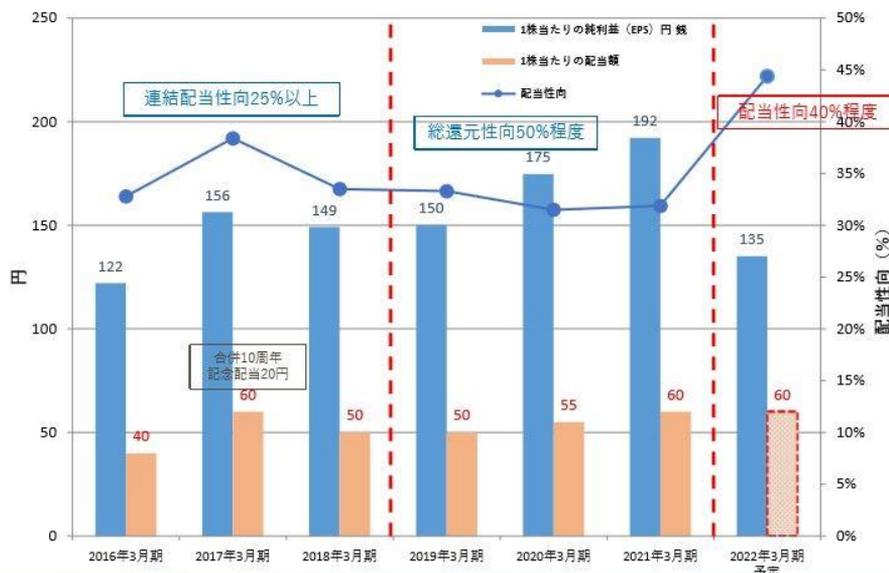
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

◆株主還元

株主の皆様に対する利益還元と経営基盤の強化を重要な経営課題と位置付け、安定的に株主還元を継続することを基本方針とし、配当性向40%程度を目標とします。

また余剰資金が発生した場合には自社株買いなど機動的に還元します。



22

株主還元。これは先ほどご説明しましたものをグラフにしております。安定して 50 円から今年度は 60 円を想定しておりますが、こういったかたちで株主の皆様へ配当しながら、なおかつ状況を見ながら自己株を取得してきているのが現状でございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

◆東京外かく環状道路 中央ジャンクションAランプ橋
他2橋（下部工）工事



Aランプ橋

Eランプ拡幅橋

工事名称：東京外かく環状道路 中央ジャンクションAランプ橋
他2橋（下部工）工事
事業主体：中日本高速道路株式会社
施工場所：起点：東京都世田谷区 終点：東京都調布市

◆北陸新幹線、福井大町高架橋



工事名称：北陸新幹線、福井大町高架橋
事業主体：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
大阪支社
施工場所：福井県福井市

主な昨年度の完成工事を少しご紹介しておきます。

土木事業、首都圏環状線。中央自動車道と外かく環状道路のちょうど重なる部分でのジャンクションの工事をいただいて、既に昨年度完成いたしました。

有名な話では、この下を通るシールドが少し中断になっております。私どもはなかなかシールド工事に参画はできなかったのですが、この上のジャンクション部の施工は影響なく工事させていただきました。

そして北陸新幹線。福井から敦賀の間の区間です。約 100 億の仕事をスポンサーで受注して、完工が終わりました。約 800 メーター区間、高架橋の上部工まで、PC の上部まで施工をしております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

◆大西水処理センター建設工事その4



工事名称：大西水処理センター建設工事その4
 事業主体：日本下水道事業団
 (元請会社：桜井工業株式会社)
 施工場所：愛媛県今治市

◆R2東関道築地地区地盤改良その1工事



工事名称：R2東関道築地地区地盤改良その1工事
 事業主体：国土交通省 関東地方整備局
 (元請会社：キムラ工業株式会社)
 施工場所：茨城県潮来市

24

地盤事業の完成工事のものです。これは下水道事業団の今治での仕事です。こちらの国交省さんの東関道、これは普通の機械のように見えますが、実は自動化施工の機械です。国土交通省の直轄工事で初めて、大型の地盤改良施工機が自動化施工に取り組んだ案件です。

安全上でオペレーターは乗っております。ただほとんどボタン一つで作業が全て進む。ここにプラントがございしますが、プラントもこのオペレーターのボタン一つで、全て自動的に材料が投入される。こういったモーターの上げ下げ、全て最初の1回でほぼ作業が終わると。ただ、なかなか安全上の問題がありますので、オペレーターは座席には乗っておりますが、こういった自動化がどんどん進んでいくものと考えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

◆阿武隈川上流鏡石・矢吹・玉川地区掘削等工事 (2t型テトラポッド)



工事名称：阿武隈川上流鏡石・矢吹・玉川地区掘削等工事
(2t型テトラポッド)

事業主体：国土交通省東北地方整備局

施工場所：福島県岩瀬郡鏡石町～西白河郡矢吹町

◆金沢港(大野地区)防波堤(西)(改良)消波工事 (6.5t型ドロスII)



工事名称：金沢港(大野地区)防波堤(西)(改良)
消波工事(6.5t型ドロスII)

事業主体：国土交通省北陸地方整備局

施工場所：石川県金沢市

25

ブロックの代表の、阿武隈川で使っていただきましたテトラポッド。あと金沢区で製作いたしました、大型のドロスII。こういったものを代表で挙げさせていただきました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

主な受注工事



株式会社 不動テトラ

工事名称	事業主体	施工場所
北海道新幹線札幌トンネル（星置）対策土受入地工事（1期施工）	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 (元請会社：鹿島・岩田地崎・荒井・森川特別共同企業体)	北海道小樽市
鳥海南バイオマスパワー新設工事	鳥海南バイオマスパワー株式会社（元請会社：本間組・菊地建設特定市営建設工事共同企業体）	山形県飽海郡遊佐町
R3荒川中堤西小松川町地区護岸工事	国土交通省関東地方整備局	東京都江戸川区
金沢（福浦B）地区水際線護岸災害復旧工事（その10・被覆工）	横浜市	神奈川県横浜市
名古屋本線等 知立駅付近立体交差事業に伴う本線土木(その11)工事	名古屋鉄道株式会社	愛知県知立市
令和3年度 霞ヶ浦地区北ふ頭護岸築造（地盤改良）工事（その1）	四日市港管理組合 (元請会社：五洋・高砂・松岡特定建設工事共同企業体)	三重県四日市市
高知自動車道 領石川橋他3橋耐震補強工事	NEXCO西日本	高知県香美市
令和3年度大分港(大在西地区)岸壁(-9m)地盤改良工事	国土交通省九州地方整備局	大分県大分市
AMAZON倉庫新設地耐力・沈下対策	Amazon→Layton Construction→AGI-Fudo JV (子会社の受注)	米国オレゴン州ウッドバーン

26

主な受注工事です。バランス良く受注できているかと。少し受注が足りなかったのですが、特に北海道新幹線のトンネルから出てきます残土を置く場所の、大規模な地盤改良を採用いただきました。当社の現在 SAVE の施工機が 10 台、石狩に入ってずっと施工をさせていただいています。

また荒川の中堤の護岸の工事ですが、これは当社としては、国土交通省さんから直接いただく河川工事としては今までで一番大きいということで、単独で三十数億の工事を受注いたしました。

また名古屋鉄道さんからは引き続き、知立駅の立体交差のお仕事もいただいております。

また維持、補修、リニューアルということで、高知自動車道、NEXCO の耐震補強の工事も受注しています。

先ほどご説明しました Amazon のお仕事。これはオレゴン州で AGI、Fudo Construction Inc. の JV ということで受注した工事も、受注実績で挙げさせていただいています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

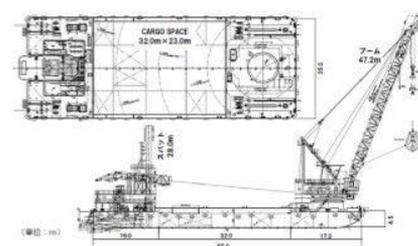


トピックス -1 事業規模拡大への投資

環境性能の優れた起重機船（兼浚渫船）の建造

地球環境保全に配慮した新たな起重機船の建造を決定しました。2025年3月 完成予定。

船種	全旋回400t吊起重機船兼グラブ浚渫船	
仕様	船体寸法	長65.0m×幅24.0m×深4.2m
	えい航船	押船:総トン数19トﾝ-1,000*2PS
	揚重装置	最大荷重400t吊(7°-422m)
	その他	Nox対応・ハイブリッド発電式



- ◎カーボンニュートラルへの対応
ハイブリッド蓄電システム
- ◎排ガス規制対応
Nox 3次規制への対応
- ◎快適な居住スペース
- ◎安全性能の向上

27

残り簡単に少しトピックスをお話しさせていただきます。

環境性能を考慮した起重機船ということで、現在テトラ 2001 号を保有しておりますが、その後の継船も兼ねまして新しく起重機船の建造を始めました。

できあがるときにちょうど秋田の洋上風力が始まるのではないかと、間に合うのではないかと期待もしておりますし、いろんな工事へ適用が可能だろうと。少し能力もアップしたようなかたちで現在、製作に入っております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

Mole-Eco Jet工法の開発

2021年12月に噴射エネルギーを利用した新発想の独自回転機構を有する工法「Mole-Eco Jet（モールエコジェット）工法」を開発し、对外発表しました。新発想の回転機構とは、同一線上にない噴射口（ノズル）から噴流した流体エネルギーの力により先端のみが自ら回転する機構です。これにより施工機の小型軽量化を実現し、建物の内部や構造物の地下空間、配管が密集している工場施設など、従来の工法では対応できない施工条件での施工が可能となりました。また、施工機の周囲にはクレーンや発電機などの機器を必要としないため、施工時のCO2排出量の削減にも寄与した環境対応型の工法となっています。



28

それとこれも新聞、いろいろなところで発表させていただきました Mole-Eco Jet。特殊な回転ノズルによって噴射攪拌させて固めていくということで、今までにない原理での工法になります。

これは本当に全くの小型です。大型のクレーンも何も要りませんし、発電機も要りません。勝手に回りますので、それでものができていくということで。例えば駐車場の地下、鉄道の地下、民家のすぐ脇、ひょっとするとビルの1階に入れても補強ができます。

どのように営業展開していくかが今年度からのテーマになっておりますが、非常に良い、新しい工法が開発できたと思います。

ただ、この工法につきましては不動テトラの大型の機械を使うわけではありません。今後事業展開していく中でこういった営業モデルとしてやるかが、少しテーマとして残っておりますので、その辺はしっかり取り組みながら考えていきたいと思っております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

砂防堰堤工法において初の採用

川辺川管内砂防保全工事でクラブロックS型が採用されました。

本ブロックは、ブロック上部の突起により任意の勾配で据付が可能で、砂防堰堤、護岸工などを対象として開発しました。

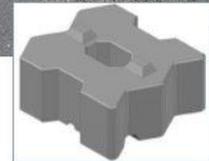
砂防堰堤を設置すると、その上流側に土砂が貯まり、河床や河岸の崩壊や洗掘を防止します。

川の勾配が緩くなることで水流が遅くなり、洪水時の異常な土砂流出を抑制することが可能です。

川辺川は、水質が良好な河川として有名で、アユ漁やお茶の栽培も盛んな地域ですが、古くより土砂災害が繰返し発生しており、土砂災害を防ぐための砂防事業が進められています。

本施設は本堤設置までの応急対策工としてクラブロックS型（2t型）を約3,000個使用したブロック堰堤で、設置・撤去が容易で短期間で施工可能、本復旧後にはブロックは護床工などで流用が可能です。

当社は、今後もこのブロックの特長を生かし、積極的に治水事業等へ参画してまいります。



クラブロックS型(2t型)
w1680×D1500×H500mm

事業主体：国土交通省九州地方整備局川辺川ダム砂防事務所
施工場所：熊本県球磨郡

29

それともう一つ、これは川辺川ダム。お聞きになられた方も多いかと思います。ダムが途中で建設が中止になった、熊本の水害がありました球磨川の上流です。そこで砂防ダムが緊急でいろいろ計画されます。その仮設です。一度、こういうかたちで一気にブロックを積んで、本堤はこの手前に時間をかけてつくります。

でも、それは時間がかかり過ぎて間に合いませんので、当社のクラブロックをたくさん積むのですけれども、これは積んだ後撤去もできますし、いろんなかたちで積むこともでき、高さ、幅、自由ですので、これを初めて仮設というかたちでお使いいただきました。あっという間にでき上がります。その間に実際の砂防ダムをつくる。緊急でこういうことをすることによって、災害から下流におられる、生活されている方々の生活を守るということで、初めてご採用いただきました。

既に2件目、3件目の引合いを九州でいただくような状況です。今後こういった臨時製品を使った災害への対策も増えてくる気がいたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

鹿児島大学教育学部附属特別支援学校への目杭の発注(ソイルテクニカ)

ソイルテクニカでは社会貢献活動の一環として、1995年5月から鹿児島大学教育学部附属特別支援学校に地盤改良の杭の打設目印となる目杭を発注しており、今年で27年が経過しました。

今年も東京および大阪機械センター宛に、同校からお礼状と生徒の皆さんが作業学習の一環として制作された干支の置物をお送りいただきましたのでご紹介いたします。めい作業は生徒の皆さんの育成の機会として活かされ、目杭の購入費は校外での買い物学習や公共施設の利用学習に活用されています。



報酬の活用

校長先生からのお礼状



あと社会貢献で、これはずっと続けております。鹿児島大学の教育学部の特別支援学校の皆さんに、当社の地盤改良で使います測量杭、特殊な杭です。これを皆さんにつくっていただいております。

これは当然、そのつくっていただいた代金をお支払いすることで、それを皆さんが楽しみに、いろいろなものに活用していただいております。皆さんの自立につながればということで1995年から始めておりますので、もうすぐ30年になるかと思えます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

横須賀市野比東小学校で「消波ブロックの役割と海の防災」出張授業を実施

2021年12月3日、横須賀市立野比東小学校で小学4年生約70人を対象に出張授業を実施しました。今回参加した子どもたちは総合学習で「海の防災」をテーマに継続的な学習を行っています。出張授業でテトラポッドの役割や海の災害・防災事業について、目で見、触って体感できるプログラムを実施することで、海が身近な子どもたちに、身の回りの自然災害、防災事業・技術を伝えることができました。また後日、出張授業を受けた子供たちから、お礼状をいただきました。

●参加した子どもたちからの感想

「普段、通学中に目に見ている、消波ブロックの役割がよく分かった」
「横須賀の海（三崎）でも一番大型のテトラポッド（80 t）が使われていると聞いて驚いた」
「テトラポッドを実際に作ったり、積上げたりして楽しかった」
「昔の野比海岸と今の野比海岸の違い（海岸が少なくなってきた）に驚いた」



お礼状の掲示



31

それと最近始めておりますのが出張授業で、減災・防災、こういった災害に対して、中心は消波ブロックになるのですが、こういったブロックがどう役立っていくか。あるいはどういうふうにしてブロックをつくっていくのかとか、そういったことを含めて海の防災をテーマに出張授業をやらせていただいております。

今年は横須賀の小学校の皆さんから、授業に対する感想や礼状もたくさんいただきました。これについては私も全て一読させていただいて、逆にお礼状も出させていただいています。

こういった社会貢献も、毎年できる限りで努めていければと思っております。

以上、駆け足ですが決算説明、ならびにトピックス等をお話しさせていただきました。お時間の許す限り、私がお答えできる範囲でご質問にお答えさせていただきたいと思っておりますので、もしご質問があればご遠慮なくしていただければありがたいと思います。

以上で終わります。ありがとうございました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

質疑応答

司会 [M]：奥田社長様、ご説明ありがとうございました。

それでは質疑応答に入ります。

なお、この説明会は質疑応答部分も含め、全文を書き起こして公開の予定です。したがって、もし匿名をご希望される場合は質問される際、氏名等を名乗らないようお願い申し上げます。

それではご質問、いかがでございましょうか。ありがとうございます。

質問者 [Q]：今日はお話どうもありがとうございました。第4四半期に冒頭で環境は良くなったというお話を少しいただいたのですが、それを含めて今期の各事業別の受注環境について、改めて教えていただけますでしょうか。よろしくお願いいたします。

奥田 [A]：昨期、第4四半期といいますか、かなり第2、第3と厳しい状況でしたので、当然なんとかという思いも、社員にもみんなありました。そんな中で第4四半期、期末に向かって利益率の改善、あるいは設計変更をいかに少しでもたくさんいただくとか、そういったことを全社でそれなりに活動した結果が少し好転して、かなり第4四半期に利益の回復に至ったと。

ただ売上については、やはり想定したとおりにかなり厳しい状況が続きましたので、売上のカバーはなかなか挽回するのは難しかったのが現状です。

今期につきましてですが、スタートして2カ月経っておりますが、各事業どういう状況。土木事業の競争はやはり前期から同じように、各社さんの受注競争は厳しい状況が続いていると見ております。ただ事業そのもの、公共事業中心のご予算としては期待できる事業量があると想定していますので、その辺にうまくわれわれの能力と人材がタイミング良く当てはまりながら、受注活動ができていければそこそこの結果は残せるだろうと。

実は手持ちがかなりございますので、その手持ち工事、中断している工事も含めてどう消化していくかも課題だろうと思っています。特にNEXCOとかJRTTの大型工事の進捗は順調に進んでいます。ただお話ししましたシールド工事が少し止まっていますので、これは不可抗力といいますか、なかなか私どもでも想定もできませんし、発注側サイドも想定もしていませんでしたので。

それをいかに早期に中断を解除するようなかたちで、施工がスタートできるか。それも今期の大きな課題だろうと思っています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

地盤事業につきましては海外を含めて、受注想定をしていますプロジェクトが今期もそこそこ期待できると思っております。先期から少し今期にずれた分も含めまして、今までにない受注規模を想定した計画になっております。それが想定どおりの受注時期に受注できれば、今の大きな売上の計画も達成できるだろうと。ですので、受注時期が大きなポイントになってくるだろうと。

ブロックは先ほどのご説明でもお話ししましたように、大きく拡大するというより、安定して今は5億以上の営業利益を出せる内容で推移していくかなと考えております。以上でございます。

質問者 [M] : ありがとうございます。

司会 [M] : ありがとうございます。ほかにご質問、ございますでしょうか。ありがとうございます。

質問者 [Q] : ありがとうございます。先ほどの質問に少し付け加えて教えてください。

基本ベースとして従来と比べたら結構、今期の業績予想の作り方はスタンスが変わったのかと思うほどの感じはするのですが、土木事業に関して大型案件で一部シールドトンネル工事が止まっていて、ここなんとなくなのですけれども、お話のニュアンス的にはなかなか動くものではなさそうな感じがするのですが。

結構、今期売上を伸ばされるような予想になっているのですけれども、シールド以外の部分で、御社の単独案件などで結構、完工高が稼げるものが何かというところ教えてください。

あと地盤改良工事の件に関しても、今期受注に依存する部分が非常に強いと思います。手持ちではまだ今期の状況が見えていない状況なのですけれども、発注元になるような現場がかなり動いてきたので、今期の受注に関してはある程度手応えがあるところで、ご計画されたのかどうかです。

ブロックの事業に関しても、これは災害復旧等々のスポット案件が結構、寄与したみたいな感じなのですが、今期結構一段強いところを見込まれているのですけれども。何か大きなプロジェクトで動いているものがあるかどうかを教えてください。

奥田 [A] : ありがとうございます。順番にご説明させていただきます。

土木につきましては大型のシールド工事、本当にご質問のとおりで、地中深くにマシンが進んでいっていますので、しかも私どもとしてはかなり大きな工事を単独で受注しています。マシンのせいではなくて、実はものすごく大きな土の中にあるかたまりとお話ししておきますが、想定は全然されていなかったものです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



土質調査でも出ていませんし設計図にもありませんが、当たっています。これをいかに取り除くのか、よけるのか、それとも違う方法をとるか。これは発注者様と一緒に考えることですので、それがいつ動くか。実はあまり早く動くとは想定せずに計画はしています。ここはある程度リスクをしっかりと捉えているとお考えいただいてもいいと思います。

単独で大きなのが何かあるかと。実は NEXCO の新東名の滝沢川橋、これがどんどん設計変更で増えていまして、単独ですがかなりの額が今、最盛期です。

それと JR TT の国縫トンネル、北海道新幹線ですが、これも今が最盛期で、秋には貫通するかというところまでできております。これも JV のスポンサーで。

それと先ほど 1 件ご紹介しましたけれども、NEXCO の西日本でスーパーさんとか大手さんがまだ競争に参加される、積極的にこられる前に 4 件ほど耐震補強の工事を受注しております。それが今最盛期を迎え出してきましたので、こういったところが売上には大きく貢献すると。

それと民間の大きな工事を受注しておりますが、これはまだ実は今、設計しておる段階ですので。これがうまく年度末にかけて着工できれば、今の計画に沿ってくると考えています。

ですので、シールドの工事のリスクはちゃんと配慮しています。ただそうはいいましても、今ご質問にありました今期の受注の売上もある程度期待していますので、そこは本当にこれからの努力次第だと。

地盤はご指摘のとおり、受注完工比率が高いものですから、今期の受注がどれくらい見込めるかが、やはり売上の 6 割強を占めてきますので。どういう物件が想定されるか、なかなかわれわれは地盤事業については下請ですので、具体的な案件がなかなか、お話が難しいのですけれども、物件としてはかなり見通せるということでこの数字を挙げています。

それと売上に関してはインドネシアで、スラバヤの設計施工でプラント会社さんから受けています工事が、9 月 10 月に完成してきます。今のところ順調にコロナ禍を乗り切って、工程を守りながら施工してきています。これも大きいと思います。

それと東南アジアでまた海外案件が、予定がいくつか入札が終わってきていますので、こういったものも着工できるだろうと。それと米国にも期待もしていますので、少し海外の比重が安定して、この中計の施策どおりに達成できてきていますので、その部分が今、通年よりも、少し目標の設定が感覚的に積極的と捉えられたのかも分かりませんが、海外の比重の分とあとは愛知ベースが 20 億ぐらい売り上げますので、その分が今までにない少し膨らんだ部分だにご理解いただいてもいいと思っております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



それとあと国内、結構民間の案件が今やっと少しずつ動き出して、その地盤改良が始まってきていますので、それも大きいかと思います。自動車工場が日本に戻ってこられたりとか、そういったかたちの地盤改良もありますし、半導体の地盤改良もありますので。そういったものが少しプラスかと。

ブロックについては災害復旧とかの案件の想定はしていません。当然分かりませんので。ですので大型の案件としては実はご存じの馬毛島、鹿児島島の南に離発着の訓練所の建設が始まります。ここに新しい港が建設されますので、既にこれはお話ししても、入札とかが行われています。そこにブロックが予定されるだろうということで、それは年度末辺りに想定はしています。ただこれは分かりませんので、まだ年度末に想定というかたちです。

以上でございます。

司会 [M]：ありがとうございました。ほかにご質問、ございますでしょうか。ございませんか。それではご質問もないようですので、これをもちまして終了とさせていただきます。

奥田社長様、そして北川常務様、本日は誠にありがとうございました。ご参加の皆様、ありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

